

スタートアップ共創型事業補助金の事業実績報告書

| | |
|---------|-------------|
| 企業名（名称） | (株)磐田工業 |
| 代表者氏名 | 代表取締役 製造 太郎 |
| 協業した企業名 | (株)産業革新 |
| 代表者氏名 | 代表取締役 協業 次郎 |

| | |
|-------------|--|
| ① 事業名 | AI を活用したプレス加工の加工工程の最適化に向けた分析ソフトの開発 |
| ② 事業実施期間 | 令和〇年7月1日 ～ 令和〇年2月26日 |
| ③ 補助事業の取組内容 | <p>※事業計画書の内容に沿ってなるべく具体的（数値、期間等）に記載してください</p> <p>例：</p> <p>加工工程を最適化するため、協業先である「業者名：(株)産業革新」に業務委託を依頼し、加工業務に特化した分析ソフトの開発を依頼した。</p> <p>※委託内容を記載。（期間：〇月〇日から〇月〇日まで）</p> <p>開発過程や試作品のテストを行うために、加工品の原材料を用意し、〇回の加工テストを実施</p> |
| ④ 事業の効果 | <p>※事業計画書の内容に沿ってなるべく具体的（数値、期間等）に記載してください。</p> <p>例：</p> <p>最適化分析ソフトにより、導入前に比べ加工工程における工数が約〇%削減された。これにより利益を年間〇円創出できる見込み。また、加工の効率が上がったことで、新たな受注の機会も増えることが想定され、売り上げが〇%創出できる見込み。</p> <p>さらに、導入前の加工工程が数値化されたことで、加工の傾向が把握できるようになったことから、加工機械や工具への負荷の状況をデータ化し、機械保全への活用も期待できる。</p> |

⑤ 今後の課題、プラン等

今後、(株)産業革新者と協議し、当分析ソフトをプレス加工分析ソフトとして買収し、本社の新規営業ツールとして活用を計画。同業他社への営業案件として新規事業を起こし、更なる売り上げの創出、ソフトウェア人材の確保、雇用を見込んでいる。

※以下について具体的に記載してください。

- ・ 補助事業完了後～1年後の事業展開
- ・ 売上増加目標

※ 事業収支の状況については、別紙「収支決算書（様式第3号）」のとおり